

県科大の看護師特定行為研修課程ではチーム医療のキーパーソンとして 多職種と協働できる特定行為実践看護師を養成します

- ◎群馬県内の慢性期医療や在宅医療等のニーズに対応し、手順書により一定の診療の補助ができる看護師を養成する機会を提供します
- ◎研修ではeラーニング・オンライン教育システムを活用し、働きながら高度なスキルと判断力を身につけます

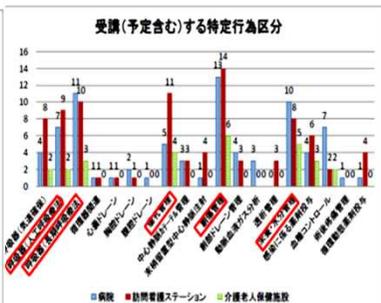
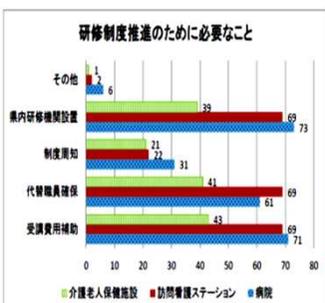


課程生（前列）と担当教員

群馬県立県民健康科学大学 看護師特定行為研修課程

県内の現状

- ・65歳以上人口 約57万人 → 高齢化率 29.8% (群馬県年齢別人口統計調査結果 令和元年10月1日現在)
- ・山間部地域は高齢化率30%を超えており高齢化が進んでいる。
- ・慢性期医療や在宅医療等のニーズが高い水準で維持されると予測される。
- ・群馬県の届出医師数は4,620人
2次医療圏の都道府県別の医師不足数 全国4位
「医師偏在指標」(推計)の指標の下位33.3%未満
「医師少数三次医療圏」(医師少数県)に該当
現時点でも医師少数で、将来的にも医師不足が解消されない県と予測されている。
(厚生省・医師需給分科会 令和元年2月)
- ・特定行為研修制度に関するニーズ調査
(平成28年度 群馬県健康福祉部医務課看護係)



・群馬県内の指定研修機関 4施設 (令和2年8月現在)

看護師特定行為研修課程の研修の内容

特定行為研修のイメージ

- 気管カニューレの交換
 - 脱水症状に対する輸液による補正
 - 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
- 2区分3行為

共通科目	区分別科目		
	<特定行為区分>	<特定行為>	<実習施設>
<ul style="list-style-type: none"> ●統合臨床病態生理学・疾病概論('19) ●臨床推論('16) ●フィジカルアセスメント特論('16) ●臨床薬理学特論('17) ●統合医療安全・特定行為実践特論('19) ●特定行為共通科目統合演習('17) ●特定行為共通科目統合実習 	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換	協力施設(勤務先等)
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	協力施設(勤務先等)
		持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	協力施設(勤務先等)

本学における進捗表

2020年	4月～8月	9月～10月	11月～2月	3月
共通科目	入学式 eラーニング 筆記試験	学内・演習・実習		認定審査 修了式
区分別科目		eラーニング	学内演習 OSCE 筆記試験	実習(協力施設)

本学での講義・演習・実習は、年間で10日間程度の予定

- ・研修は全てに共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれている。
- ・授業は講義、演習、実習により構成され、本学では「eラーニング」を導入して進めている。
- ・慢性期及び在宅医療でニーズの高い「呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連」「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の2区分3行為の研修を提供している。
- ・実習は研修生の協力施設(自施設・近隣施設)で行う。

看護師特定行為研修課程の研修の様子

- ・4～7月 県内5病院から5名が入学、共通科目6科目をeラーニングで受講、単位を修得した。
- ・8～9月 学内『特定行為共通科目実習』を4日間実施した。この実習は本学教員と、特定行為研修の教育経験が豊富な非常勤講師(医師)及び県内で活動する特定行為研修修了者、模擬患者の会などのご協力のもとシミュレーション教育の手法を取り入れ実施(写真1～3枚目)
- ・9～10月 区分別科目のeラーニング、医師による講義・演習・OSCE(技術試験)を実施。技術試験はオンライン教育システムを活用して演習動画を掲載し、繰り返し視聴可能とした。気管カニューレ交換の手技練習用シミュレータを貸与し、技術試験の物品や手順は各施設に合わせて実施(写真4枚目)
- ・11～2月 区分別科目の臨地実習は、研修生の所属施設で、患者様の同意を得て指導医等から指導を受け実践した。実習では研修生がデザインしたスクラブを着用した。



医療面接のシナリオの検討



模擬患者様への医療面接場面



模擬患者様への医療面接場面



OSCEの様子



・11～2月 区分別科目の臨地実習は、研修生の所属施設で、患者様の同意を得て指導医等から指導を受け実践した。実習では研修生がデザインしたスクラブを着用した。

今後の予定

Nursing Program for Specified Medical Acts completed training at GCHS in 2020

- ・県内や研修生のニーズに合わせて、修了者のフォローアップ研修の企画や区分別科目の追加を検討している。